

堺市堺区基本計画の推進について

堺市堺区基本計画 2026-2030

-安全・安心で暮らしやすい、共創する堺区へ-

令和8年3月策定



めざすべき将来像と4つの基本方針

めざすべき将来像【2035年（10年後）の将来像】

恵まれた歴史と文化を誇りに、地域の力で居住の魅力と活力を生み出す堺区

将来像を実現するための基本方針

基本方針 1

安全・安心

地域でつながり、みんなが安全・安心に住み続けている

基本方針 2

魅力向上

歴史と日常が共存し、堺区の魅力が世代を超えて伝えられている

基本方針 3

身近な区役所

便利で身近な総合行政機関として、みんなが満足している

基本方針 4

健やかな暮らし

健やかに自分らしく暮らしている

計画推進にあたっての主な取組

- 自主防災組織への支援の強化
- 自助・共助による地域防災力の向上
- 地域連携による防犯意識の向上
- 防犯環境の整備の推進
- 安全・快適な都市基盤の維持・管理

施策の成果を図るKPI（重要業績評価指標）【現状値 → 目標：令和12年度】

大阪重点犯罪認知件数（堺区）

184件 → **160件**

自主防災訓練の参加者数

3,055人 → **4,000人**

地域での様々な活動が活発だと思える割合
（堺市市民意識調査（堺区））

58.8% → **66.3%**

現状・課題

- 南海トラフ巨大地震等による津波被害が想定されることや能登半島地震以降防災意識が高まる。激甚化する風水害への備えも必要。
- 公助には限界があり、自助・共助の取組を幅広い世代へ促す必要がある。
- 防災活動への参加者が一定数に限られる一方、つながりや助け合いが必要と感じている人が多い。
- 情報通信技術の進展等に伴う非対面型犯罪の増加

施策

施策1-1

地域活動支援を通じた地域防災力の向上を図ります

施策1-2

地域ぐるみで防災・防犯活動等を行い、安全・安心で快適な環境を創出します

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
自主防災組織への支援の強化	地域の防災活動を支援し、地域防災力の向上を図る ・各校区防災訓練の実施など自主防災組織への活動支援 ・防災士資格取得促進等知識やスキル取得の支援 ・地区防災計画の策定支援 ・キーボックスを活用した避難所開設及び運営にかかる手法の確立・習得 ・人命救助や安否確認等発災時に必要な技術の習得 ・防災サポーターの育成及び地域活動への波及
自助・共助による地域防災力の向上	個人の特性や地域の実情に応じた自助・共助を強化 ・小学生から高齢者まで幅広い世代を対象とした区民向け防災学習の実施 ・子育て世代向け防災マップを活用した防災啓発の実施 ・防災啓発動画の作成と活用 ・堺区ふれあいまつり時等での防災啓発の実施 ・地域住民の相互交流と連帯感の醸成を目的とした地域活動の支援



災害時初動人命救助訓練



地震時自動開錠キーボックス

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
地域連携による防犯意識の向上	地域全体の見守りを推進し、複雑化・多様化する犯罪の被害防止に取り組む ・警察や地域と連携した防犯の啓発イベントの実施 ・特殊詐欺等被害防止対策の周知・啓発 ・こどもの見守り活動や青色防犯パトロールの支援 ・区内の高校と連携した防犯活動（通学中の見守りやSNSを活用した啓発等）の実施【新規】
防犯環境の整備の推進	安全・安心なまちの実現に向け、地域の防犯環境の整備を推進 ・地域が設置した防犯灯のLED化と防犯カメラの公設化の推進 ・公設防犯灯・防犯カメラの維持管理 ・青色防犯パトロール車の更新 ・特殊詐欺被害防止のために自動通話録音機の無償貸与
安全・快適な都市基盤の維持・管理	安全・安心で快適な暮らしの土台を守る ・道路・公園・ライフライン等の適切な維持・管理（関係事業者・各部局と連携）



こどもの見守り活動



自動通話録音機

計画推進にあたっての主な取組

- 見やすく使いやすい区役所ホームページへのリニューアル
- SNS・マスコットキャラクターを活用した情報発信の充実
- 広報さかい堺区版のリニューアル
- 歴史ある文化資源を活かした魅力発信
- 万博レガシーを活用した区内周遊の促進
- 区民参加型の事業及び魅力発信の仕掛けづくり

施策の成果を図るKPI（重要業績評価指標）【現状値 → 目標：令和12年度】

堺区ホームページ・トップページの閲覧数
(堺区調べ)

28,019件 → **40,000件**

堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思う割合(堺市市民意識調査(堺区))

48.1% → **52.1%**

堺市は歴史文化資源を身近に感じる都市だと思う割合(堺市市民意識調査(堺区))

78.9% → **80.6%**

現状・課題

- 公共交通網が充実しており、買い物や通勤通学等利便性の高い地域。世界遺産である百舌鳥古墳群の大部分を有するなど歴史文化資源が豊富。
- 本庁が実施する区域内での歴史、文化、観光、スポーツ等の取組をターゲットに応じて効果的に発信することが重要。
- 区民アンケートでは、「区役所サービス・相談窓口」や「お出かけ・イベント情報」を知りたい人が多い。

施策

施策2-1

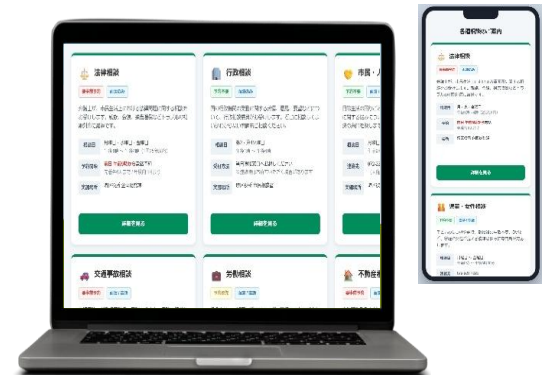
地域資源を活かした更なる魅力発信等を強化します

施策2-2

区民を巻き込んだ魅力発信の取組を推進します

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
見やすく使いやすい区役所ホームページへのリニューアル	迅速かつ的確で魅力的な情報発信を実現する ・既存の区役所ホームページをリニューアルし、画像やビジュアル要素を活用することで、誰もが必要な情報にたどり着きやすい、分かりやすいホームページへ刷新 ①トップページの文言や画像、導線を見直す ②ページ構成を利用者目線で再整理 ③手続きや相談窓口などの主要情報を分かりやすく整理 ④終了した募集やイベント情報を整理し、必要な情報が埋もれないよう運用
SNS・マスコットキャラクターを活用した情報発信の充実	マスコットキャラクターを活用し、地域の魅力・行政情報を届ける ・区長Xで主に区役所からのお知らせや区域内的のイベント情報を発信（週2,3回） ・サカエル&みそさかいXで、主に区内施設のイベント情報やサカエル&みそさかいの日々のできごとを発信（週2,3回） ・Instagramで、市民等から投稿していただいた綺麗な景色や飲食店などを紹介（週2,3回） ・マスコットキャラクターのぬいぐるみをふるさと納税の返礼品とし、そのPR動画を作成 ・サカエルTV（YouTube）を活用し、行政手続きにおける電子申請の方法や利用手順をわかりやすく紹介



区HPリニューアル後のイメージ



ふるさと納税HP

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
広報さかい堺区版のリニューアル	行政情報に加え、堺区の魅力ある施設や地域資源を効果的に発信する ・広報さかい堺区版の2面・3面の構成を見直し、堺区の歴史・文化資源の魅力や地域・区内施設のイベントを効果的に発信
歴史ある文化資源を活かした魅力発信	世代を超えて堺区の歴史文化の魅力を伝える ・令和9年度に築造150周年を迎える旧堺燈台の活用等、各部局と連携した歴史文化資源のPRと賑わいの創出に資するイベントの実施【新規】 ・広報さかい堺区版の2面・3面の構成を見直し、堺区の歴史・文化資源の魅力や地域・区内施設のイベントを効果的に発信【再掲】 ・堺市公式LINEを活用し、堺区公式SNS（X、Instagram、YouTube）との連携を強化
万博レガシーを活用した区内周遊の促進	万博レガシーを活用して堺区への誘客・回遊を促進する ・区内6施設を巡るウォーク&スタンプラリーを実施する。区内周遊しつつ、観光、産業、歴史・文化の魅力を再発見する機会を創出 ・堺区ふれあいまつりでは、大屋根リングや海外パビリオン関連品などを展示し、誘客につなげる ・SNSを活用した区民参加型の情報発信により、堺区の魅力発信を強化



YouTubeによる魅力発信



旧堺燈台とマスコットキャラクター

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
区民参加型の事業及び魅力発信の仕掛けづくり	区民に参画していただき、魅力発信の輪を広げる ・関西大学堺キャンパス、地域の団体や企業と連携した堺区こども音楽フェスの実施 ・専門事業者を活用した、訴求力の高いリール動画の制作 ・堺区内で撮影した写真・動画の投稿を募集「(#sakaikuphoto)」し、投稿作品を堺区公式Instagramや広報紙等で紹介 ・万博レガシーを活用したウォーク&スタンプラリーにあわせて、堺区公式Instagramで区民参加型の魅力発信を実施



堺区こども音楽フェス



堺区公式Instagram

計画推進にあたっての主な取組

- 区役所窓口DX・ICTの活用の推進
- 安心して相談できる窓口環境の整備
- 高齢者や外国人等を含むすべての人が利用しやすい窓口環境の整備
- 職員の接遇力・窓口対応力向上研修を実施
- 待ち人数のスマホ発信の周知強化
- デジタル利用支援の実施

施策の成果を図るKPI（重要業績評価指標）【現状値 → 目標：令和12年度】

窓口対応について「とても良い」の割合
（窓口アンケート調査）

59.8% → **65.0%**

堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思う
割合（堺市市民意識調査（堺区））

73.8% → **74.0%**

マイナポータルを利用して転出届を提出した
件数（堺区調べ）

1,009件 → **1,500件**

現状・課題

- 利便性の高い区役所の実現のため、区役所DX（デジタル化）の継続的な推進が必要。
- 窓口は接遇に加え、スムーズで丁寧な対応や外国人対応など多様なニーズへの対応が求められている。
- 混雑情報を発信しているが、認知度が低い。
- 複雑化・多様化する地域課題を解決するためには、本庁や関係機関との連携が重要。

施策

施策3-1

窓口DXを推進し、利便性の高い区役所をめざします

施策3-2

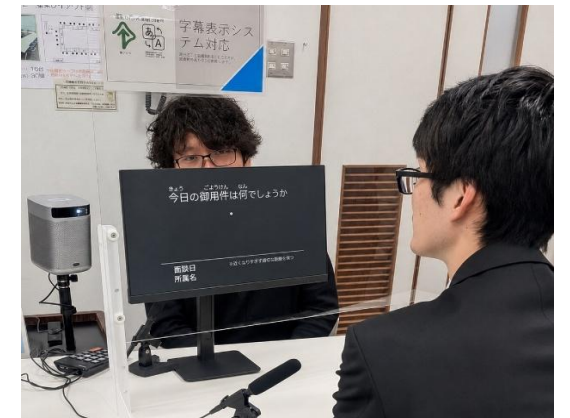
来庁された方に対し、質の高い行政サービスを提供します

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
区役所窓口DX・ICTの活用の推進	利便性の高い区役所を実現する ・書かないワンストップ窓口の令和9年度末設置に向けた検討 ・生活保護システムの電子決裁等機能追加による業務の効率化 ・介護認定・障害支援区分認定審査会に係るシステムの導入 ・パスポート申請に係るキャッシュレス【新規】、窓口申請の来庁予約に電子申請を導入 ・サカエルTV（YouTube）を活用し、行政手続きにおける電子申請の方法や利用手順をわかりやすく紹介（再掲）
安心して相談できる窓口環境の整備	相談環境を整備し、安心して相談できる窓口づくりを推進する ・来庁者の特性に配慮し落ち着いて面談できるよう、堺保健福祉総合センターにプライバシーに配慮した面談室を新設 ・おくやみ相談窓口の設置・運用 ・子育て中の保護者を対象としたオンライン相談への対応
高齢者や外国人等を含むすべての人が利用しやすい窓口環境の整備	高齢者や外国人等と円滑なコミュニケーションを図る ・会話内容を字幕で表示する機器をモデル的に導入 ・対話支援機器やコミュニケーションボード等の活用



電子申請イメージ画像



字幕表示システムイメージ画像

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
職員の接遇力・窓口対応力向上研修を実施	来庁者が正確・効率的に目的を達成できる環境を整備する 区役所内の主に若手職員が抱える接遇上の課題をテーマとした研修を実施 (参考) 令和7年度：基礎研修に加え、クレームや不当要求に係る実践研修を実施
待ち人数のスマホ発信の周知強化	窓口の待ち時間の負担を軽減する - 待ち人数等をスマートフォンで確認できる仕組みの周知・利用促進 ①広報さかい堺区版への定期的な掲載 ②区ホームページのPRエリアに掲載 ③暮らしのガイドブック等への掲載
デジタル利用支援の実施	デジタル・ディバイド（情報格差）を解消する - 配慮が必要な方へのデジタル利用支援としてスマホ教室の実施 - 二次元コード読み取り方法をポスター等に掲載し操作方法の周知



「窓口待ち人数」PR画像



YouTube動画（コンビニ交付）

計画推進にあたっての主な取組

- 年代別の健康情報発信と健診受診の促進
- フレイル・認知症予防の取組充実
- ロコモティブシンドローム対策
- こども家庭センターによる相談支援
- こどもの居場所の設置

現状・課題

- 女性の健康寿命が政令指定都市で最下位。健康寿命の延伸が喫緊の課題。
- 世帯あたり人口が7区で最少、年少人口比率は2番目に低く、65歳以上の独居高齢者人口比率が最も高い。
- 介護予防・認知症予防・健康増進の取組に対する満足度が低い。また、フレイルのハイリスク者は7区で最も高い。
- 虐待・不登校・貧困等こどもの課題が複雑化・多様化。安心できる居場所の必要性が高まる。

施策

施策4-1

区民それぞれが健康に関して高い意識をもつ地域をめざします

施策4-2

生涯にわたって健やかに暮らすことができるよう支援します

施策の成果を図るKPI（重要業績評価指標）【現状値 → 目標：令和12年度】

特定健康診査（職場の健康診断や人間ドックを含む）を受けていると答えた割合（堺市市民意識調査(堺区)）

71.9% → **81.0%**

ロコモサポーターの活動の場

18回 → **23回**

フレイルのハイリスク者の割合（後期高齢者医療制度 健康診査問診票(堺区)）

26.0% → **23.1%**

こども家庭センターが支援して新設された地域でのこどもの居場所数

— → **3か所**

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
年代別の健康情報発信と健診受診の促進	区民の健康意識を高め受診行動につなげる 特定健診、がん検診の受診率向上 ①区役所来所者に向けた啓発及びけんしん総合サイトの周知 ②スターボックスでのがん啓発カード配架、乳幼児健診来所者（保護者）へのがん検診カードの配布 ③中央図書館での啓発活動、学校保健の機会を活用した保護者連絡ツール（tetoru）での情報発信
フレイル・認知症予防の取組充実	フレイル、認知症予防に関する普及啓発と予防活動の推進 ・フレイル測定会及びフレイル予防教室の開催 ・イオンモール堺鉄砲町や区民まつり等でのイベントにおける普及啓発の実施 ・自主活動グループ（健康づくり協力委員会）と連携したフレイル予防の普及啓発の実施 ・フレイル該当者に対する管理栄養士・歯科衛生士の訪問を実施し、介護予防事業への参加につなげる



がん検診受診勧奨



フレイル測定会

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
ロコモティブシンドローム対策	ロコモティブシンドロームの予防に関する普及啓発 ・ロコモ予防講演会及びロコモサポーター養成講座を開催 ・養成講座修了者（ロコモサポーター）による地域での普及啓発活動の実施 ・地域包括支援センターと連携したロコモ度チェック実施支援 ・地域の集いの場において、ロコモサポーターによるロコモ体操動画を活用した普及啓発の実施 ・ウォーキング大会でのロコモ体操の実施
こども家庭センターによる相談支援	子育て家庭に切れ目のない支援を行う ・子育て支援課と保健センターによる合同会議等を通じて、統括支援員を中心に母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、虐待の予防的対応から子育てに困難を抱える家庭への支援まで切れ目なく対応している。その結果、それぞれの専門性を活かした多角的なアセスメントに基づく適切な支援方針の決定・実施につながっており、今後も円滑な情報共有による相談支援を継続 ・子育て支援課と保健センターによる合同事業として「学びのプロジェクト」を実施。令和8年度はパパの育児支援をテーマに開催予定



ロコモ体操



ここっとルーム

主な取組の事業概要

事業名	事業概要
こどもの居場所の設置	こどもが安心して過ごせる居場所を提供する ・関西大学人間健康学部ボランティアサークル「WEVO」及び堺市社会福祉協議会堺区事務所と連携し、学齢期のこどもの居場所「こねくと」を開設 ・イオンモール堺鉄砲町で、こどもの社会参加につなげるために職業体験を実施。同施設内での「こねくと」開設を予定 ・主任児童委員による「こねくと」の見学を契機として、今年度、地域主体の居場所開設につながる。地域での更なる居場所開設に向け、引き続き地域・関係機関と連携



こどもの居場所